第一交通産業株式会社
〒802-8515 北九州市小倉北区馬借２丁目６番８号
https://www.daiichi-koutsu.co.jp/

2026年11月12日

News Release

【国内初】第一交通産業、タクシー車庫屋根を活用した次世代型太陽電池プロジェクトを始動

～神奈川県の実証事業に採択。超軽量パネルで「移動」と「地域」の脱炭素化を推進～

第一交通産業株式会社（本社：福岡県北九州市、代表取締役社長：田中　亮一郎、以下「第一交通産業」）は、2026年12月より、当社子会社であるヒノデ第一交通株式会社（磯子営業所）の車庫ルーフにて、次世代型薄膜系「カルコパイライト太陽電池」を用いた発電実証事業を開始いたします。

本事業は、タクシー営業所としては**国内初**の実証となり、神奈川県が公募する「令和8年度 神奈川県次世代型太陽電池普及促進事業費補助金」の採択事業として実施するものです。

1.本実証事業の概要

- **開始時期：** 2026年12月より開始（2027年3月頃までデータ取得・検証予定）
- **設置場所：** ヒノデ第一交通（株）磯子営業所（神奈川県横浜市 / 車庫屋根等）
- **検証内容：** 24時間稼働するタクシー営業所における次世代型太陽電池によるシステムの設置・運用ノウハウの蓄積、および発電効率・施工性等の実証
- **活用方法：**発電した電力は営業所内の照明器具や空調設備等に活用
- **実施体制：**



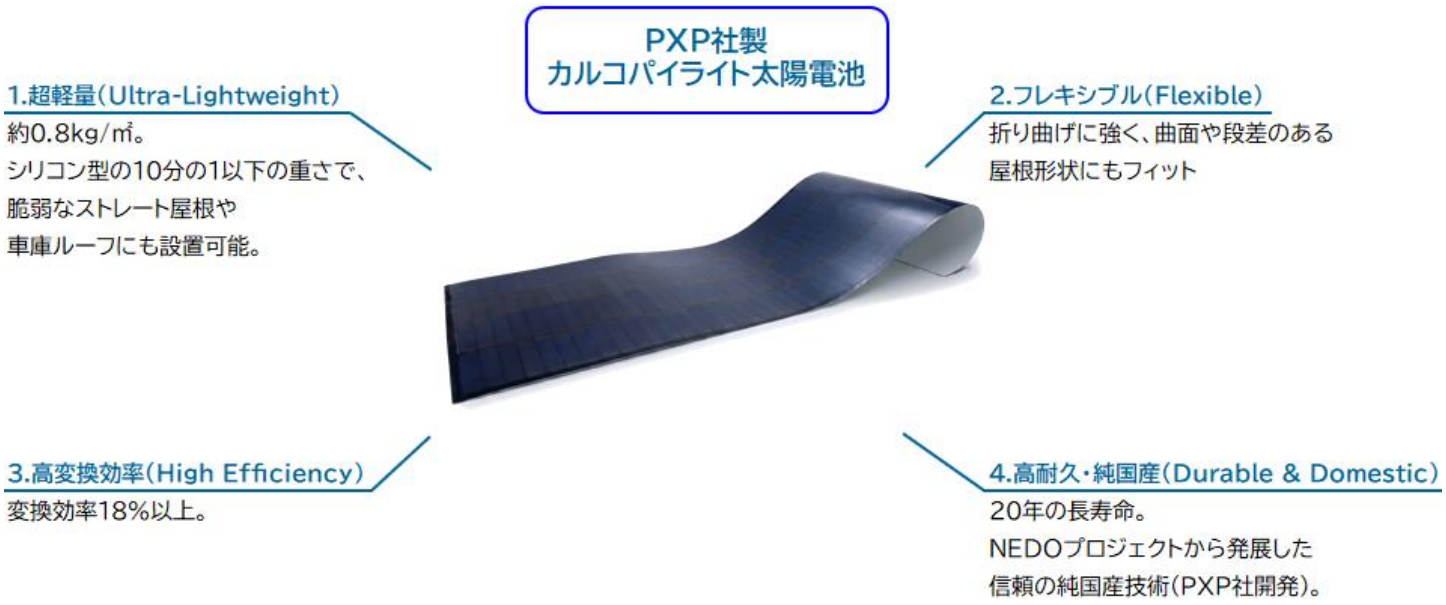




2. カルコパイライト太陽電池（PXP 社製）とは

本実証で採用する「PXP 社製カルコパイライト太陽電池」は、NEDO※の技術開発プロジェクトのもと、1993年から旧昭和シェル石油の研究所で培われてきた技術がルーツです。この国産技術をベースに、PXP 社が大幅な改良を重ねて開発した次世代型の太陽電池であり、主に以下の特長を備えています。

※国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構



3.第一交通産業グループが目指す姿

次世代型「カルコパイライト太陽電池」は、超軽量で曲げられる特性を持ち、従来のパネルが設置できなかった車庫屋根等への設置が可能です。24時間稼働するタクシー営業所を拠点として本実証を行うことで、営業所の電気コスト削減や将来の EV タクシー充電インフラ構築、災害時の地域防災電源の確保を目指します。

2027年3月まで発電性能や施工性の検証を重ね、得られた成果をもとに将来的な活用の可能性を検討してまいります。

将来的には、インフラの脱炭素化を起点とした第一交通産業グループ独自のアプローチとして、全国のネットワークを活かした**「地域密着型エネルギーエコシステム」の構築を**目指します。

以上

暮らしのいちばんそばに
"移動"を支え
"地域"を守り
"環境"を創る

本件お問い合わせ先
第一交通産業株式会社
総務部　広報・サステナビリティ担当　：　池邉、關
TEL　093-511-8811
MAIL　d_group@daiichi-koutsu.co.jp